

今月のトピック

AIで顔写真から認知症を診断する

認知症疾患医療センター長 飯塚 友道

AIによる顔写真からの認知症診断の研究が、1月26日付の読売新聞に載りました。

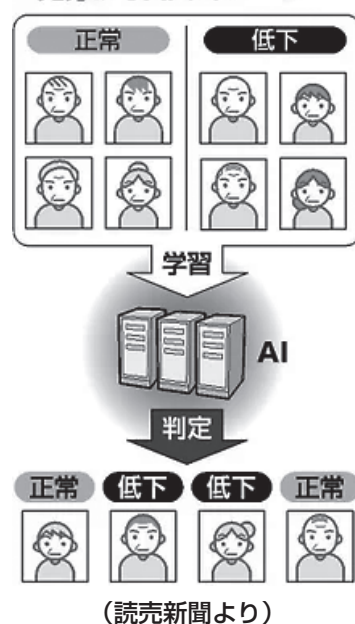
AIを使えば、約90%の確率で、顔写真から正常とアルツハイマー型認知症が区別できるという研究結果でした。

私たちは4年くらい前から、認知症の脳画像をAIで鑑別する研究をしてきました。それなりに成果がありましたが、同時期に、東大老年病科の亀山裕美先生が、認知症のエキスパート5人で、認知症を含む高齢者の顔写真を見て80%近くの正解率で診断ができたと報告しました。それならば、AIを顔写真の鑑別に使えばもっと精度が上がるだろうと考え、今回の研究が始まりました。

この亀山裕美先生のご主人である東京都健康長寿医療センターの亀山征史先生は、私の長年の共同研究者で、かつて10年ほど当院に非常勤で核医学の読影にいられていました。そういった縁での施設間共同研究です。ちなみに、東大老年病科がAI用のPCを購入した時に、当院核医学科の深澤技師が亀山先生の依頼で初期セッティングに行きました。

さて、AIでの顔診断の実用性についてですが、この研究のゴールは、病院玄関の体温モニターのような感じのスクリーニング装置を想定しています。読売オンラインの多くの書き込みにもありましたが、高齢者の運転免許も可否の判断にも使えるでしょう。さらには、治療により表情が改善する場合もありますので、治療効果の判定にも使用できると考えています。このように、いろいろな可能性があります。また認知症の病型の鑑別にまでは至っておりません。そういった課題も多くあります。とにかく医用画像のAI診断と異なり、なじみの顔写真からの診断なので、ネット上の反響も大きく、次の論文作成には少々プレッシャーを感じているところです。

顔写真で認知機能の低下を見分けるAIのイメージ



当院の新型コロナウイルス感染症対策について

- 病院入り口で入館者全員に検温を実施し、発熱している方については一般の方と動線が交わらないように、対応する場所を完全に分けています。また、入館者全員の常時マスク着用をお願いしています。マスクについては、不織布マスクをお勧めします。
- 当院受診中の患者さんで必要と考えられる方に対しては、積極的にウイルスPCR検査をおこなっています。ウイルス抗原定量による高感度な迅速検査も必要に応じておこなっています。
- 無症状でウイルス感染している方が受診する可能性への対策として、飛沫が拡散する危険性のある検査や処置（肺機能検査）は中止しています。
- すべての入院患者さんに対して、院内感染を防止するために入院前にウイルス検査を行い、陰性であることを確認した上で入院して頂いています。
- 入院患者さんをウイルス感染から守るため、入院中の面会と外出は全面禁止です。
- 当院職員についてもウイルスに感染しないよう、職場での食事の会話を禁止し、日常生活でも会食を制限するなどの対策をとっています。
- 当院を利用される皆様には、ウイルス感染防止対策につきまして是非ともご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

(なお新型コロナウイルスの感染状況により変更する場合がございます。)

朝食は一日はじめの大事なスイッチ!!



厚生労働省は2020年12月、「令和元年国民健康・栄養調査」の報告書を発表。そのなかで、朝食を欠食した人は男性で14.3%・女性10.2%に達していることが分かりました。

朝食をとらない理由は「時間がない」「食欲がない」「朝食が用意されていない」など。時間がないは、夜更かしによる朝ねぼうが影響しているとも考えられ、生活リズムが乱れると食欲も出ません。まずは、朝食をおいしく食べられるよう生活のリズムを整えることが大切です。



朝ごはんの役割

■ 脳にエネルギーを補給する

脳のエネルギー源は「ブドウ糖」です。夜寝ている間もエネルギーを使っているため、朝ごはんを食べないと午前中はブドウ糖が不足したままです。朝ごはんを食べると、脳にエネルギーが補給され、集中力や記憶力のアップにつながります。

■ 体のリズムを整える

朝ごはんを食べると、エネルギーがいきわたって体が目を覚まし、動きやすくなります。また、胃や腸が刺激されて排便が促され、決まった時間の排便を習慣にすることが良いと言われている「朝うんち」につながります。

■ 体温を上げる

朝ごはんを食べると、体の中で熱が作られ、寝ている間に下がった体温が上がります。そうすると体の調子よくなり、元気に活動しやすくなります。

朝食は、一日のはじまりの大切なエネルギー源です。

時間がないからといって抜かず食べる習慣をつけましょう!

前夜の残り物を活用したり、冷凍したごはんをあたためて使うのも便利です。

Point
1

下ごしらえで手間いらず

夕食の支度をするときに、次の日の朝食のことも考えて材料を準備をしたり、夕食のおかずを多めに作り、朝食にまわすことで、手間をはぶくことができます。

Point
2

調理しなくてもいいものを用意

そのまま食べられるチーズや果物を用意しておけば、時間も手間もかかりません。



Point
3

パターンを決めて悩まない

毎朝お決まりのパターンを決めておけばラクチンです。一品ずつ新しいメニューに変えていけば、それだけでレパートリーが広がります。

〈農林水産省「確かめよう自分の一日」、多摩小平保健所「めざましスイッチ朝ごはん」参考〉



結核予防会の出版活動

「シリーズ：結核予防会」の最終回は、
複十字シール運動のイメージキャラクター「シールぼうや」が担当いたします。

皆さん、こんにちは！ボクは、世界から結核をなくすために活動しています。
予防会のパンフレットや雑誌にもたくさん出演しているんだよ。
今回はボクが予防会の出版活動について紹介するね。



パンフレット

写真の「知って治そう結核マンガ 沖田くんのタイムスリップ」「DOTS（ドッツ）ってなあに」は一般の方々向けの普及・啓発パンフレットなんだ。病気についての正しい知識を身につけて、安心して最後まで治療を続けていただけよう。複十字病院の医師や看護師さんに執筆をお願いしているんだ。毎年、売り上げトップの「結核?!でもさっさと大丈夫」は、全国の保健所から1万部を超える注文をいただき、患者さんやご家族の安心に役立っているよ。



本や雑誌

これまで医師や保健師さんなどの専門職、自治体で結核を担当する皆さんを対象とした専門書を数多く出版してきたんだ。現在も、単行本や教科書シリーズ、保健師・看護師のための定期刊行雑誌を制作しているよ。1954年から毎年発行している「結核の統計」は、結核の研究や対策を進めるための貴重な資料となっているんだよ。

他の出版物については、結核予防会のホームページ (<https://www.jatahq.org/>) を見てくださいね。
これからも、仲間と一緒に「結核のない世界」を目指してガンバリます！応援してね！



「たすけあインコ」



「シールちゃん」



「シールハイハイ」



「ツベリーナ」

結核予防会事業部出版調査課

新

医

師

の

紹

介



Doctor
A la carte

さいとう まさみ
齋藤 雅美



- 配属先／がんセンター緩和ケア診療科主任
- 出身地／神奈川県
- 出身大学、卒業年／日本医科大学 1999年卒

趣味及び特技

映画鑑賞

患者さんへのメッセージ

非常勤医師としてこれまで呼吸器内科の外来を受け持たせていただいておりますが、この度緩和ケア病棟に勤務させていただくこととなりました。患者さんの症状緩和のお手伝いをさせていただけるよう努めてまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

带状疱疹ワクチン(シングリックス) 接種開始のお知らせ

健康管理センターでは、带状疱疹ワクチン（シングリックス）の接種予約を受け付けております。

50歳以上の方の9割が、带状疱疹ウイルスに既に感染していると考えられ、80歳までに3人に1人が発症に至ると言われています。

発症すると、皮膚の症状（赤い発疹）だけではなく、神経にも炎症を起こし痛みが現れます。神経が損傷されることによって、皮膚の症状が治癒した後も3カ月以上痛みが残ってしまう带状疱疹後神経痛（PHN）や、目や耳への合併症、顔面神経麻痺などの重い後遺症が残る可能性があります。

シングリックスとは、带状疱疹ウイルスの予防に従来使用されていた水痘ワクチン（予防効果51%）と比較し、高い予防効果（50歳以上で97%、70歳以上で90%）を持つワクチンです。

強い痛みや、長引く後遺症を予防するために、50歳以上の方は予防接種をお勧めします。

対象年齢 50歳以上

接種回数 2回（※2回目の接種は、
1回目の接種より2カ月後）

料金 ￥22,000(税込) × 2回 = ￥44,000

※1回接種ごとに料金（￥22,000）をお支払いいただきます。

※シングリックスは予約が必要です。予約を頂いてから納入まで2週間ほどかかります。

ご迷惑をお掛け致しますがご了承ください。

お申込み

複十字病院健康管理センター

(TEL: 042-491-4712 平日8:30~17:00)



複十字病院は
公益財団法人結核予防会の病院です

予約・紹介のご案内

■ 受付時間

平日 8:30~17:00 土曜日 8:30~12:00

■ 医療機関・紹介状をお持ちの患者さんのご予約

電話 042-491-9128

FAX 042-491-3553

■ 再診・初診（紹介状なし）のご予約

電話 042-491-6228

複十字病院

〒204-8522 東京都清瀬市松山3-1-24

代表電話 042-491-4111

代表FAX 042-492-4765

交通のご案内

■ 電車でお越しの方

・西武池袋線『清瀬駅南口』より徒歩12分

または、バス『南口2番乗り場』より3つ目『複十字病院前』下車

・JR中央線 武蔵小金井駅より『清瀬駅南口ゆき』バス『保育園入口』下車
バス停より徒歩5分

■ お車でお越しの方

・小金井街道『清瀬高校入口』信号を曲がり 西に300メートル

・所沢街道『全生園東』信号を曲がり病院通りを東北に2キロメートル